

映画「うまれる」学校上映
未来人育てプロジェクト

うまれる

<http://www.umareru.jp/>

授業の一貫として、映画『うまれる』を上映しませんか？

映画『うまれる』では、日本の未来を担う学生、生徒のみなさんに、命の大切さ、家族の絆、そして、自分自身の存在の奇跡などをお伝えするために、『未来人育てプロジェクト』と題し、授業の一環として映画を上映していただく活動を推進しております。

映画『うまれる』は、命を見つめる4組の夫婦を通して、【自分たちが産まれてきた意味や家族の絆、命の大切さ、人との繋がり、そして“生きる”ことを考える、ドキュメンタリー映画】です。妊娠・出産・育児、流産・死産、不妊、障害、胎内記憶など『うまれる』ということ幅広く捉えることで、親子関係やパートナーシップ、男女の役割、そして命そのものを考え、感じていただける内容になっております。



両親とのわだかまりやいじめ、自分自身の存在意義など、現在の子どもたちが抱えている悩みは数多くあります。「本当の幸福とは何なのか」

「生まれたことの意味とは」「親子の絆とは」等々・・・、映画『うまれる』に込められた想いが、自殺や登校拒否、ひきこもりなどの解決への足がかりとなり、映画の上映会が【未来人】作りのきっかけになることを切に願っております。

教育版 映画『うまれる』

- ・ドキュメンタリー／カラー／90分／DVD
 - ・監督：豪田トモ ナレーション：つるの剛士
 - ・料金：52,500円（税込）
 - ・レンタル期間：1週間（期間中は何度でも上映いただけます）
- ※小学校から高校までは、[支援金制度](#)を使っただけ、無料で上映いただける場合があります。

※事前視聴DVD無料貸出制度あり

子どもたちに観せる前に、先生方で、事前にご覧頂ける制度を設けております。下記よりお申込みください。

<http://www.umareru.jp/preview-form.html>

ご利用いただいている授業や行事例

- ・家庭科 ・保健体育
- ・人権教育の授業
- ・総合学習「命の授業」
- ・学園祭 ・看護学校の戴帽式 等



<上映会をされた先生方の感想>

家庭科の授業で上映しました。「命の大切さを感じて欲しい」と思って上映を企画しましたが、生徒の反応は、こちらの予想以上でした。「パートナーがいるって良いかも」とか、「親になるということ」を考えてみたり、自分だったら「障害のある子どもにどう向き合えるだろうか」と考えてみたり・・・、観た後に、本当に何通りも授業を展開していけるような映画だったと改めて感じ、感謝しています。思春期が終わりかけ、自分と向き合い、自信がなくなってきたり、進路を前にして迷ったり悩んだりすることの多い高校生の時期に観ることに、とても意味があると感じました。（神奈川県K高校）

みんなでこの映画を観ることができて良かったです。私たちがらみて、生徒は熱心に観ていたと思います。難しい部分もあったと思いますが、何かを感じ、何かを得たと確信しております。（山形県公立中学校）

■ 詳細 & お申込はホームページにて ■ <http://www.umareru.jp/> ■

お問い合わせ：うまれるパートナーズ (school@umareru.jp)

未来人育てプロジェクト支援金制度

小学校～高校までの学校に関しましては、国内外から広く募集させていただいた支援金を、上映申請のあった対象の学校及び施設での上映料金（1校5万円）として使用させていただきます。

※但し、支援金の集まりによって必ずご利用いただけるわけではありませんこと予めご了承ください。

みなさまからの支援お待ちしております！

<支援金のお振込先>

三菱東京UFJ銀行
渋谷支店(普)0309235
うまれるパートナーズ有限責任事業組合未来人育てプロジェクト